

2019年度（対象年度：2018）自己点検・評価シート

基準1	理念・目的
-----	-------

I. 自己点検・評価

1 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「A」「B」「C」「D」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目 点検項目（評価の視点）	自己評価	
		現状	改善
101	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。 ①建学の精神の設定とその内容 ・目指すべき方向性 ・育成する人間像	A	A
102	大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。 ①建学の精神の普及と醸成 ・学生及び教職員への周知・理解 ・教育・研究・社会貢献における具現化 ・人権尊重の理解促進	B	

2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。	
101	・2012年度に部局長会において建学の精神を明文化(101a)し、ホームページ、学生手帳、出講手帳等において、本学が育成する人間像を明示している。
102	・宗教委員会において、建学の精神具現化の現状やあり方について協議し、必要に応じて事業を見直して実施している。(102a)
102	・建学の精神具現化のための行事として、報恩講、降誕会、新入生本願寺参拝、定例法要、公開講演会、成人のつどい等を、学生の協力を得て開催している。(102c)
102	・人権問題研究委員会において、人権研修、研究・調査を実施するとともに、人権に関する大学への提言をおこなっている。
102	・「性のあり方の多様性に関する基本指針」にもとづく本学の対応について、PRIDE指標にエントリーして客観的な現状を把握（2018年度はゴールド受賞）(102b)し、部局長会等に報告して改善を図っている。
長所・特色《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの	
項目 No.	101・「龍大はじめの一步 龍谷大学建学の精神」の全学生への配布、授業副読本として活用
項目 No.	102・性のあり方の多様性に関する基本指針にもとづく取り組みを、外部の指標によって評価
課題事項《箇条書き》 *伸長すべき点、改善すべき点	
項目 No.	102 「建学の精神」の具現化のため点検・評価の指標が明確化
項目 No.	102 PRIDE指標の結果を受け、未整備の施策について検討が必要

3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<伸長・改善の進捗状況>

対象年度における取り組み *成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
102・あらたな学生層への訴求のため、仏教活動奨学生（懸賞企画、懸賞論文）にあらたに「懸賞フォトエッセイ」を設けて募集し採択した。(102c)
・性のあり方の多様性に関する基本指針にもとづき、受講者名簿等から性別表記を廃止(102d)、SOGI カフェの開催(102e)、冊子「先輩たちのライフストーリーズ」発行(102f)、人権イベントへの出展等(102f2)をおこなった。
・人権問題研究委員会において「龍谷大学生のアルバイトと就職活動に関する調査」を実施し、キャリアセンター・学生部に報告するとともに、学内外にリリースした。(102g、102h)

<今年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
101	5 長からポスト 5 長への移行等の際し、建学の精神のあるべき表現や具現化について、宗教委員会のもとで検討する。
102	性のあり方の多様性に関する基本指針にもとづき、相談体制のあり方や通称名等の扱いについて検討する。

4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
101	a	龍谷大学の建学の精神
102	a	2018 年度第一回宗教委員会議事録
102	b	PRIDE 指標 2018 表彰状、PRIDE 指標 2018 レポート
102	c	2018 年度事業一覧（学校法人事業報告書資料編抜粋）
102	d	性のあり方の多様性に関する本学の対応状況について
102	e	SOGI カフェポスター（第一回、第二回）
102	f	大学生のための LGBTQ サバイバルブック『先輩たちのライフストーリーズ』
102	f2	関西レインボーフェスタ、人権フェスタしが報告(ホームページ)
102	g	龍谷大学生のアルバイトと就職活動に関する調査
102	h	ひゅーまんらいと 399 号

II. 評価結果

総評
<p>「建学の精神」は、WEB ページ、学生手帳及び出講手帳等に掲載され、学内外に周知・公表している。</p> <p>宗教委員会において、建学の精神の具現化の現状やあり方を協議している。2018 年度は、仏教活動奨励学生（懸賞企画、懸賞論文）に新たに「懸賞フォトエッセイ」を追加し、また「成人のつどい」のあり方を見直した。</p> <p>「性のあり方の多様性に関する基本指針」に基づき、SOGI カフェの開催、冊子「先輩たちのライフストーリー」の発行、人権イベント（関西レインボーフェスタ）への出展等、様々な啓発活動を行っている。また LGBT に関する企業等の取り組みの評価指標である PRIDE 指標による表彰制度（任意団体 work with Pride 主催）にエントリーし高評価（ゴールドを受賞）を得たことは、本学の人権啓発に対する取り組みが評価されたものといえる。</p> <p>人権問題研究委員会は、学生のアルバイト・就職活動に対する意識及び実態を把握するため、「龍谷大学生のアルバイトと就職活動に関する調査」を実施した（報告書：2019 年 3 月 31 日発行）。今後、調査結果を踏まえた施策・取り組みが実施されることが期待される。</p> <p>長所・特色に、冊子「龍大はじめの一步 龍谷大学建学の精神」を全学生へ配布し、授業（仏教の思想）の副読本として活用しているとの記載があるが、どのように使用され、「建学の精神」の醸成・浸透に役立っているのか、より具体的な説明が望まれる（昨年度も指摘）。</p>
長所・特色《箇条書き》
<p>LGBT に関する企業等の取り組みの評価指標である PRIDE 指標による表彰制度（任意団体 work with Pride 主催）で高評価を得たことは、本学の人権啓発に対する取り組みが評価されたものといえる。</p>
課題事項《箇条書き》 *各項目に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載
<p>今後、「龍谷大学生のアルバイトと就職活動に関する調査」の結果を踏まえた施策・取り組みが実施されることが期待される。【留意点】</p> <p>冊子「龍大はじめの一步 龍谷大学建学の精神」を全学生へ配布し、授業（仏教の思想）の副読本として活用しているとの記載があるが、どのように使用され、「建学の精神」の醸成・浸透に役立っているのか、より具体的な説明が望まれる（昨年度も指摘）【留意点】。</p>

2019年度（対象年度：2018）自己点検・評価シート

基準1	理念・目的
-----	-------

I. 自己点検・評価

1 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「A」「B」「C」「D」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目 点検項目（評価の視点）	自己評価	
		現状	改善
101	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	B	B
	①建学の精神と大学の教育理念・目的の連関性 ②大学の教育理念・目的と学部・研究科の教育理念・目的の連関性 ③学部においては、学部、学科又は課程ごとに、研究科においては、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的の設定とその内容		
102	大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	A	B
	①学部においては、学部、学科又は課程ごとに、研究科においては、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的の適切な明示 ②教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等による大学の教育理念・目的、学部・研究科の教育理念・目的等の周知及び公表		

2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。	
101① 建学の精神と連関した「龍谷大学の教育理念・目的」[101a]を設定している。	
101② 大学の教育理念・目的と学部・研究科の教育理念・目的の連関性を担保するため、「学部・研究科の『教育理念・目的』と3つの方針（「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受入れの方針」）策定の基本方針」を設定[101b]している。	
101③ 学部・研究科ごとに、人材育成その他の教育研究上の目的を示した「教育理念・目的」を設定し、そのもとに3つの方針を定めている。	
2015年度に「龍谷大学の教育理念・目的」及び「学部・研究科の『教育理念・目的』と3つの方針策定の基本方針」が策定されたことから、学部・研究科の教育理念・目的と3つの方針の連関性や、3つの方針相互の整合性をあらためて見直すため、全学教学会議のもとに「3つの方針一体的見直し作業部会」を設置し（2016年度第2回全学教学会議〈2016.9.27〉承認）[101c]、種々検討を重ね、2019年度入学生より新たなDPとCPを適用することとなった。（2018年度第6回全学教学政策会議〈2019.1.24〉報告）[101d]。	
102①学部においては学部毎に、短期大学部及び研究科については、学科（専攻）毎に、学則において適切に明示されている。[102a]	
102②本学の教育理念・目的、学部・研究科の教育理念・目的等については、各学部・研究科の履修要項や学生手帳、出講手帳、大学HPにおいて確認することが可能となっており、教職員、学生、社会に対して適切に公表されている[102b]。周知の方策については、教員に対しては、年度始めの教授会や研究科委員会で、学生に対しては履修登録説明会等でなされている。	
長所・特色《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの	
102②	「教育理念・目的」については、履修要項・学生手帳・出講手帳・大学HPなど多様な方法で公表し、年度始めの教授会や研究科委員会等で確認している。

項目 No.	
課題事項《箇条書き》	*伸長すべき点、改善すべき点
101③	学部・研究科の教育理念・目的と3つの方針の連関性、および整合性の検証。
項目 No.	

3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<伸長・改善の進捗状況>

対象年度における取り組み	*成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
101③	「3つの方針一体的見直し作業部会」を計5回開催し、2019年度入学生より新たなDPとCPを適用することとなった。（2018年度第6回全学教学政策会議<2019.1.24>報告）[101d]。
102①	学部・研究科の「教育理念・目的」については、毎年度初めの教授会等で変更の有無について確認がなされ、適切性が確認されている。[102c]
102②	学部・研究科の「教育理念・目的」等の変更については、媒体間で齟齬が生じないよう、教学部及び当該学部・研究科が連携し、学部については履修要項の共通原稿を作成するなどして確認を行っている。

<今年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
101③	「3つの方針検証委員会」において、全学的な共通の枠組みのもとに継続的に見直し作業を行う。

4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
101	a	龍谷大学の教育理念・目的（URL： http://www.ryukoku.ac.jp/about/philosophy.html ）
101	b	学部・研究科の『教育理念・目的』と3つの方針（「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受入れの方針」）策定の基本方針 （URL： http://www.ryukoku.ac.jp/about/philosophy.html ）
101	c	3つの方針一体的見直し作業部会の設置について（提案）<2016年度第2回全学教学会議 資料>
101	d	各学部等における「卒業認定・学位授与の方針」（DP）及び「教育課程編成・実施の方針」（CP）の見直し結果について（報告）
102	a	学部・大学院・短期大学部学則（抜粋）
102	b	2019年度各学部履修要項
102	c	2019年度各研究科履修要項（電子データなし）
102	d	2019年度学生手帳（電子データなし）
102	e	2019年度出講手帳
102	f	大学の教育理念・目的、学部・研究科の「教育理念・目的」 http://www.ryukoku.ac.jp/about/philosophy.html
102	g	各学部・大学院における「教育理念・目的」「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」の変更について（依頼）

II. 評価結果

<p>総評</p>
<p>龍谷大学の教育理念・目的は、「建学の精神」に基づき適切に定められている。また教育理念・目的の下に「学部・研究科の『教育理念・目的』と3つの方針（「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受入れの方針」）策定の基本方針」を定めることにより、大学の教育理念・目的と学部・研究科の教育理念・目的との連関性を担保していると評価できる。</p> <p>2016年度に「3つの方針一体的見直し作業部会」を設置し取り組んできた「学部・研究科の『教育理念・目的』と3つの方針策定の基本方針」に基づく、学部・研究科の『教育理念・目的』と3つの方針の連関性及び3つの方針の相互の整合性を見直し作業については、2018年度で終了し、2019年度入学生から新たなDPとCPを定め公表した。このことは、学部・研究科の『教育理念・目的』と3つの方針との整合性がとれているものと評価できる。また、今後「3つの方針検証委員会」を制度化（規定化）し、全学的な共通の枠組みのもと継続的に見直し作業が行われることが期待される。</p> <p>本学の教育理念・目的及び学部・研究科の教育理念・目的等は、履修要項、学生手帳、出講手帳又は大学Webにおいて確認することが可能であり、かつ教授会や研究科委員会、又は履修登録説明会等で周知・説明がなされており、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているものと評価できる。</p> <p>学部・研究科の「教育理念・目的」等の変更については、媒体間で齟齬が生じないよう、教学部及び当該学部・研究科が連携し対応している。特に学部では履修要項の共通原稿を作成するなど確認を行っている。</p>
<p>長所・特色《箇条書き》</p>
<p>学部・研究科の『教育理念・目的』と3つの方針の連関性及び3つの方針の相互の整合性を見直し、2019年度入学生から新たなDPとCPを定め公表したことは、学部・研究科の『教育理念・目的』と3つの方針との整合性が適切に確認していると評価できる。</p>
<p>課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載</p>
<p>今後「3つの方針検証委員会」を制度化（規定化）し、全学的な共通の枠組みのもと継続的に見直し作業が行われることが期待される。【留意点】</p> <p>「教育理念・目的」等の公表について、媒体間で齟齬が生じないよう、履修要項の共通原稿を作成するなど、必要な施策を実施・継続することが期待される。【留意点】</p>